

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田泉地点自動車販売店舗	階数	地上3F
建設地	大阪府吹田市泉町2丁目3101の一	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	50 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,700 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2017年9月28日
敷地面積	3,425 m ²	作成者	川上秀二郎
建築面積	2,384 m ²	確認日	2017年9月30日
延床面積	2,994 m ²	確認者	川上秀二郎

本図を右クリックし、「図の変更」を選択していただくこと、外観図等を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆ 80%☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:★

①参照値 100%
②建築物の取組み 58%
③上記+②以外の 58%
④上記+ 58%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 低層の建物が多い地域なので、建物を10m以下に抑えて地域に溶け込むとともに、吹田市役所、吹田市文化会館の近くで地域活性化する建物計画とした。		その他
Q1 室内環境 自然光の効率的な利用のために、建物前面をガラスのカーテンウォールとした。	Q2 サービス性能 ショールームの天井高を高くして、空間的なゆとりを感じることができる計画とした。	Q3 室外環境(敷地内) 自動車整備工場の部分を建物内部に配置して、整備の音が外部に漏れにくい計画とした。
LR1 エネルギー ショールームをガラスのカーテンウォールとして自然光を効率的に取り込む計画としていることを生かして、日中の照明の入り切りを出来るだけ頻繁に行い、消費エネルギーを出来るだけ抑えるようにする。	LR2 資源・マテリアル 内装仕上げ材には、ホルムアルデヒド発散建築材料の等級区分として、規制対象となる等級(第3種以下)を使用しない計画とした。	LR3 敷地外環境 都市計画法の開発公園は緑化する計画としており、ヒートアイランド現象の緩和に資する計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0088

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)吹田市泉地点自動車販売店舗建設工事					
		建設地	大阪府吹田市泉町2丁目3101の一部他					
		用途/区分	物販店					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					5		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							報告しない	
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.6	5	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	3		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						3.1
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価						3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価						5.0
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価						3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価						3.0
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				1.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								